



乙丸

僕専属メイドが
言うことを聞かない

夜のご奉仕で主従逆転!?

【R18版】

5

僕専属メイドが言うことを聞かない ～夜のご奉仕で主従逆転！？～

第5話



最初は
ナマイキな女
としか
思わなかった



肌を重ねる
ように
なってるから

その印象が
変わることは
なかった



□うるさい
性悪だし

主人への
敬意なんて
かけらもない

いつも
やり込められて
ばかりなのも
気に入らなかった



それまで
気づか
なかった
一面が

少しずつ
見えてくる
ようになって



でも

その内
段々と

昔からずっと
親が決めた
相手と一緒に
なるつもりでいた

それなのに

そこに何の
疑問も
持たなかったのに

今は――



風が気持ちいい
ですね！

わあ――…

オオオ

オ

オ

ああ

そうだな！

今日は
メアリーと
デートコースの
下見に来ている

コースの
下見……
ですか？

ああ

エスコートの
予習に相手役が
いると助かるん
だが――

かしこまり
ました

そういう
ことでしたら
お供致します

勿論これは
ただの口実だ

メアリー

妻になつて
くれないか

坊っちゃんま……

悪い
冗談は
おやめ下さい

あの夜

メアリーは
そう言つて
部屋を
出て行つた

今回メアリーを
連れ出した
目的は
ただ一つ――



これは
気の迷いや
勘違い
なんかじゃない

メアリーだって
それは
分かってる
はずなんだ



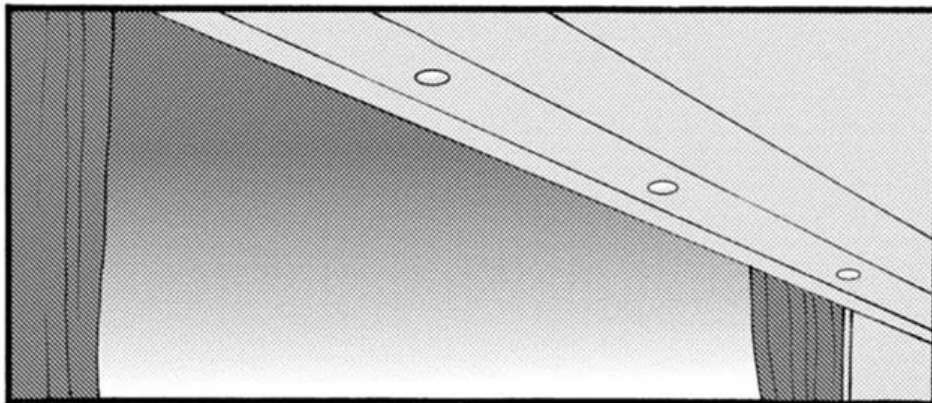
あれから
数日――

メアリーへの
気持ちは
まるで収まる
気配がない



冗談なんかで
終わらせて
たまるか…

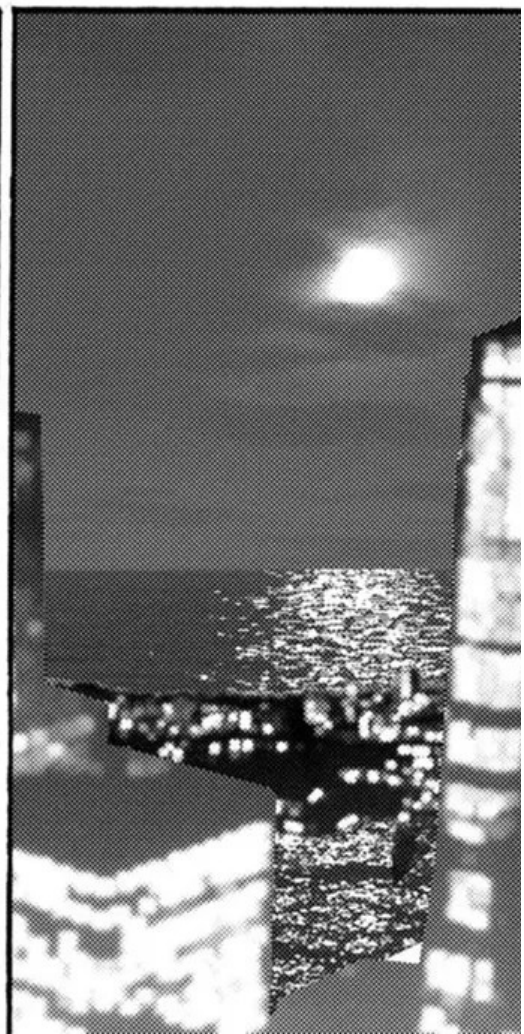
メアリーに…
本気の気持ちを
伝えるんだ!!



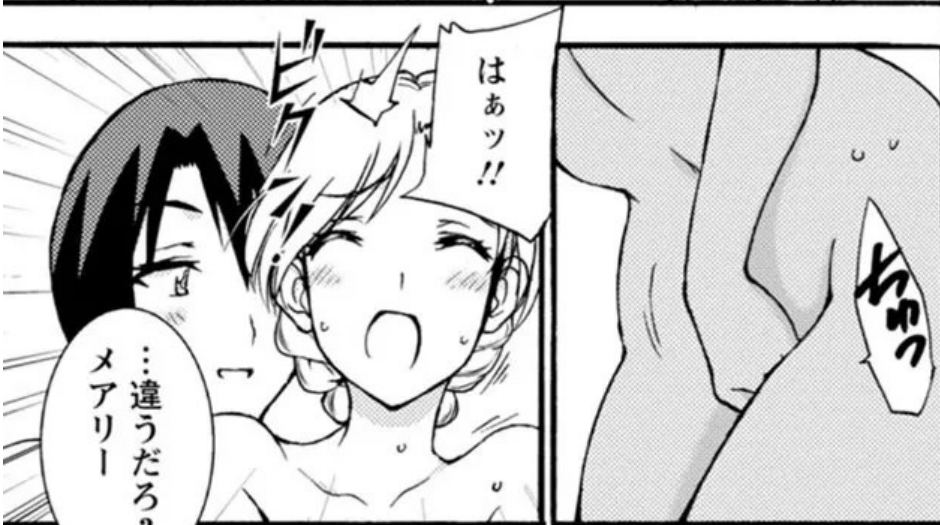
んっ

んっ

んっ…

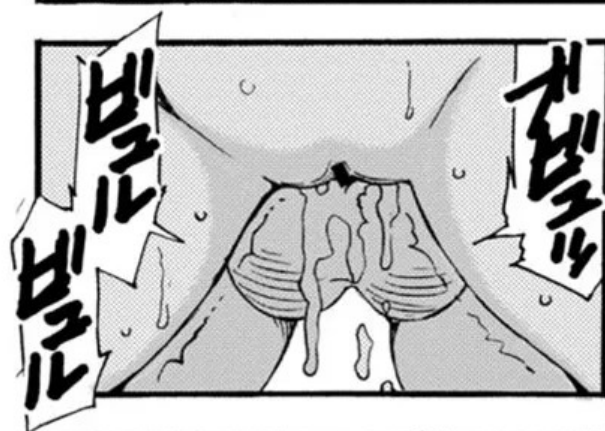




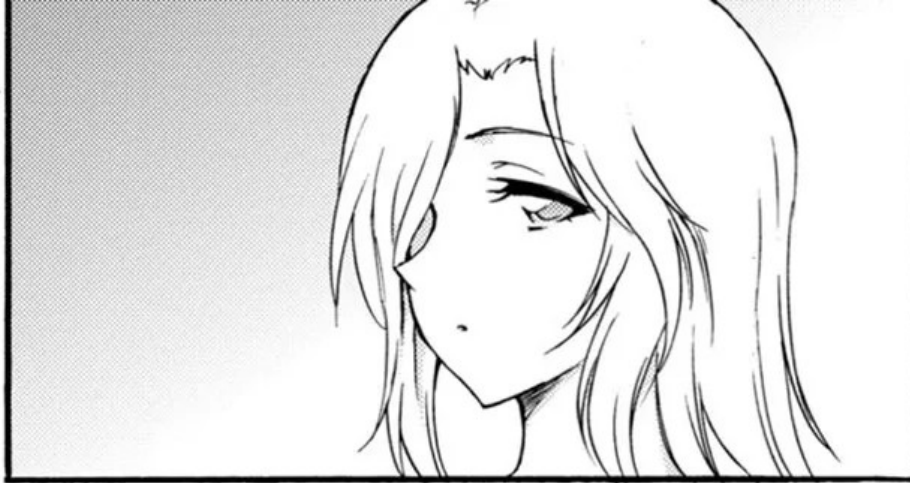






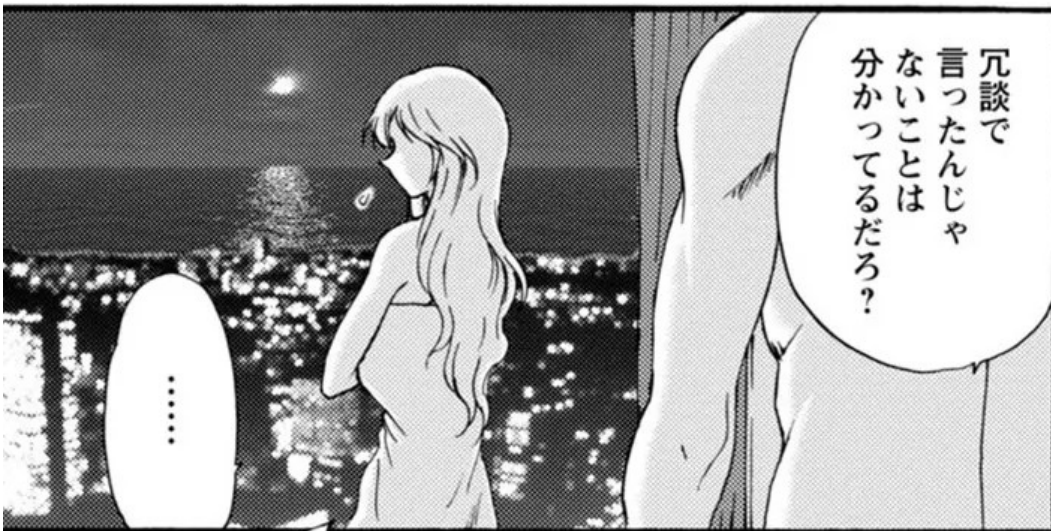






メアリー

あの夜の返事を
聞かせて
くれないか



冗談で
言っただんじや
ないことは
分かってるだろ？



ワガママで
高飛車で…
皆からはきつと
嫌われてる
だろう

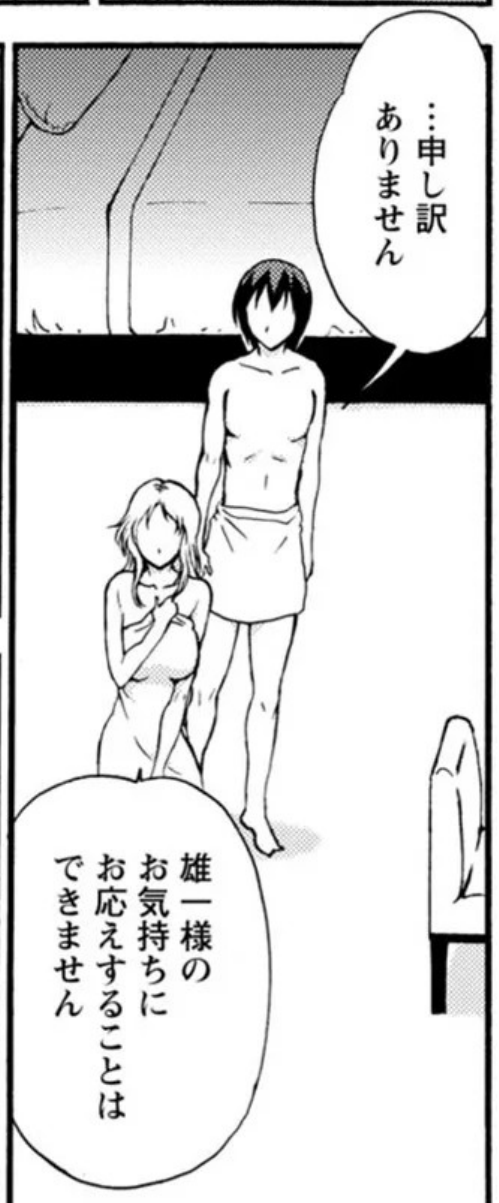
でもこの
気持ちだけは
本物なんだ!!

メアリー…
ボクは決して
いい主人じゃ
ないかもしれな



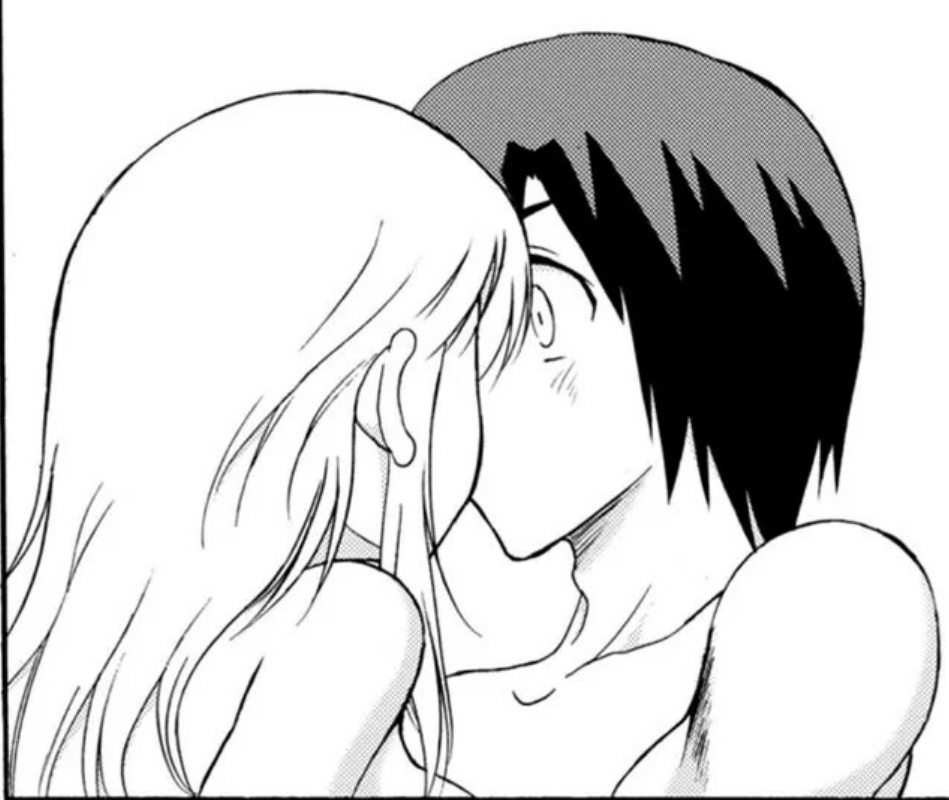
ボクはもう
お前のことしか
考えられない

必ず幸せに
する!!
だから



…申し訳
ありません

雄一様の
お気持ちに
お応えするこは
できません

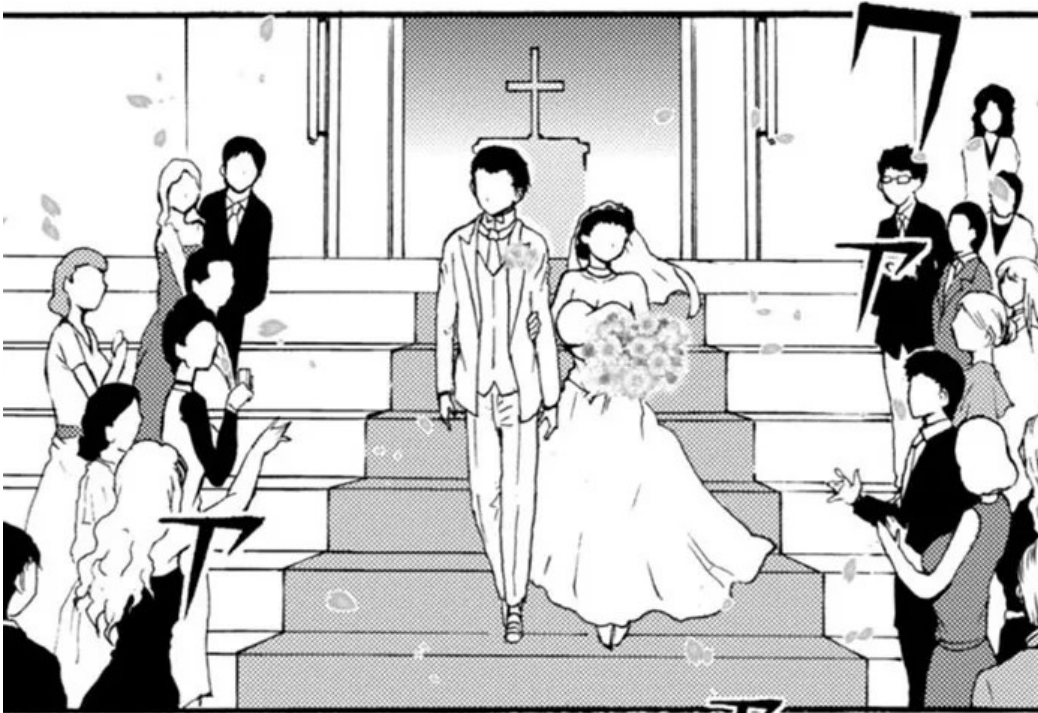


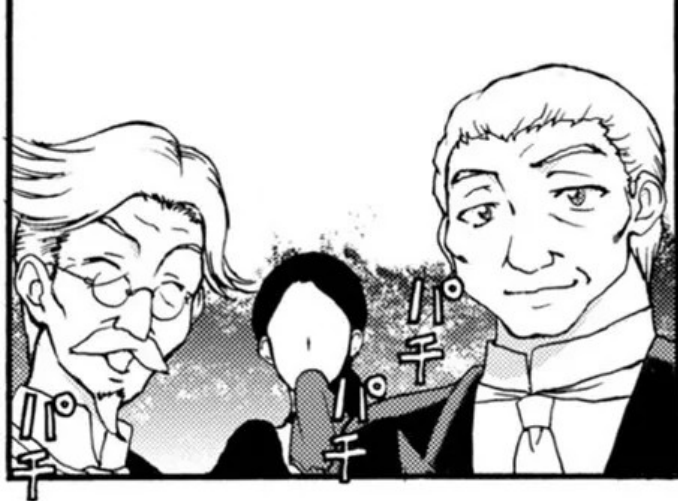


—そして



月日は
流れ

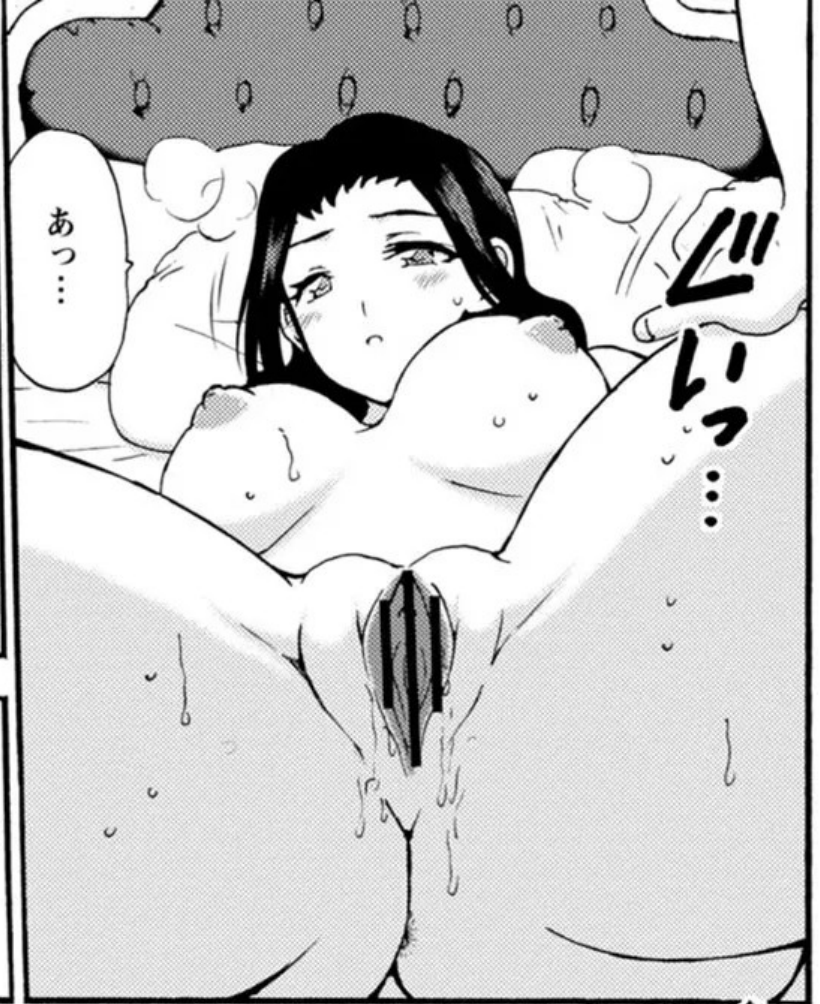














to be continued

**僕専属メイドが言うことを聞かない
～夜のご奉仕で主従逆転!?!～
【R18 版】**

⑤

乙丸

© 乙丸／秋水社ORIGINAL